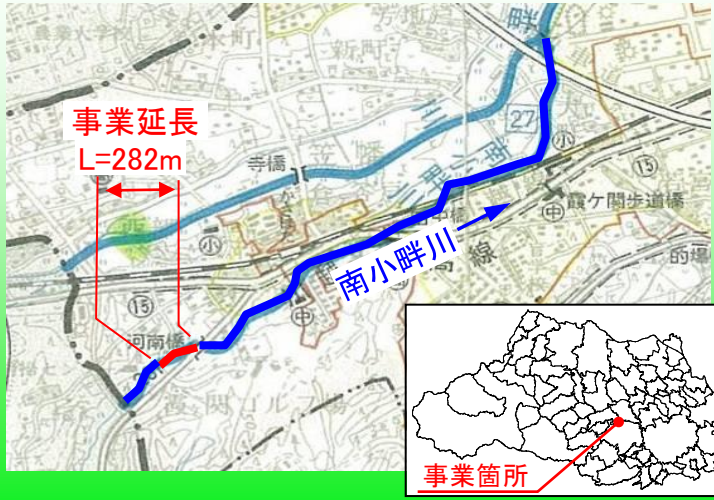


位置図



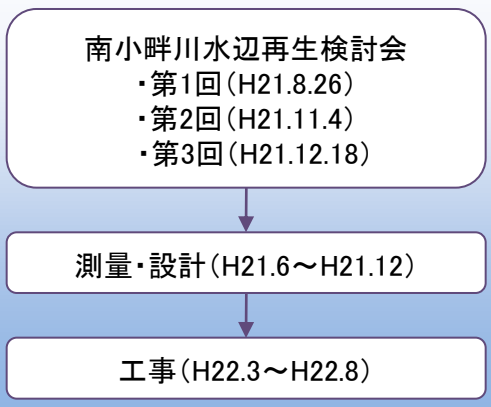
事業概要

開始年度	平成21年度
事業延長	L=282m
事業内容	遊歩道 L= 64m
	石積護岸 1箇所
	緩傾斜護岸 1箇所
	飛び石工 1箇所
	落差修繕 1箇所

地域の声

川遊びができるようになった。

事業経緯



検討会メンバー
西部自治会、上野自治会、EM
ネットワーク小畔、川越市、県



地域活動
・川の国応援団美化活動団体が毎年11月に清掃活動を実施
・河川愛護団体が不定期に川のイベントを実施

整備の状況



整備前



整備後

雑草が生い茂り、水辺に近づけない
(H21.7撮影)

法面や水際を整備し、水辺に近づけるようになった
(H22.11撮影)

事業概要

整備テーマ ポイント

みんなが利用しやすく、水辺に親しめる空間づくり

- ポイント①: 自然と触れ合え、利用しやすい場をつくる
- ポイント②: 水辺に近づきたくなる、良好な水環境をつくる
- ポイント③: 河川の自然環境と調和した景観をつくる
- ポイント④: 生き物が生息しやすい環境をつくる

⑥アクセス歩道
地域の皆さんが上流の公園まで、散歩をし易いようにする。



平面図

①遊歩道

河道を歩きやすくし、水の流れを感じながら、橋の上下流を安全に通行できる。



②飛び石

河床の低下を防ぎ、また、川で遊べる場をつくる。



③落差修繕

大きな石を並べて土砂を堆積しやすくし、魚類等の移動を確保する。



⑤緩傾斜護岸

勾配を緩くし、公園で遊んでいる人が川へ近づき易いようにする。



⑥アクセス歩道

⑤緩傾斜護岸

③落差修繕

河南橋

①遊歩道

④自然石護岸

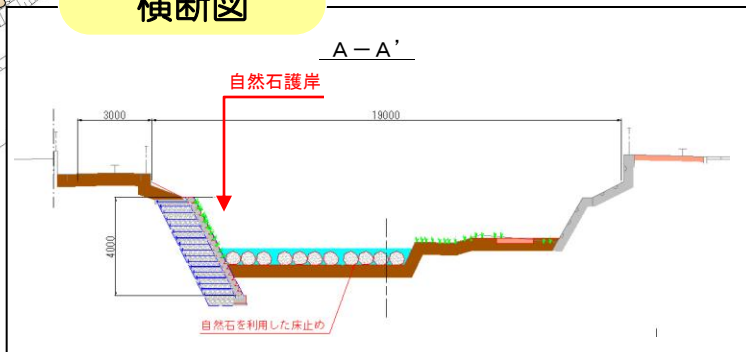
既存の石を活用し、勾配を急にし、河川断面の変化により、魚類等が生息しやすい淵をつくり、自然な河原を創出させる。



④自然石護岸

②飛び石

横断図



★: ビューポイント

